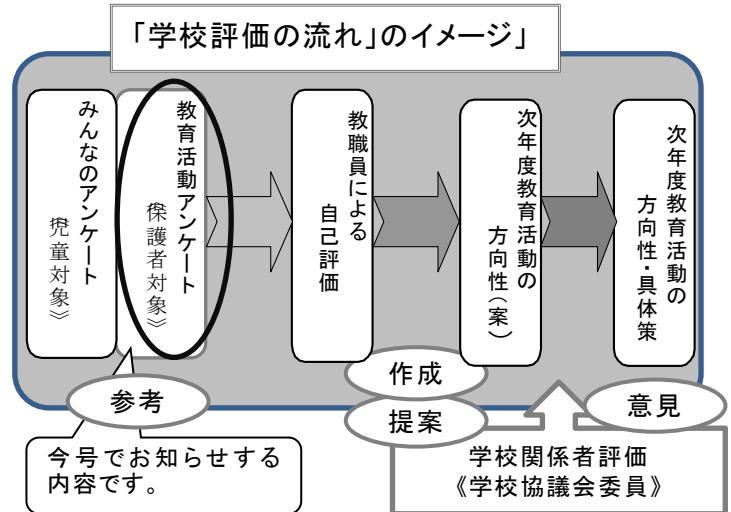


## 学校評価② 《教育活動アンケートについて》

今年度の教育活動の振り返りを何回かに分けて報告しています。これは「令和5年度 学校評価」の一連の流れとなります。その第2弾となる今号では、保護者対象の「教育活動アンケート」についてお伝えします。11月下旬から12月初旬に、町田市立学校の学校評価実施要項に基づいてお願いしました。実施要項には「町田市の共通質問項目や4段階評価、記名式、児童に対し1枚の回答」などが定められており、今年度の学校経営計画を加味して作成しました。



### 【全体を通して】

この「教育活動アンケート」が、保護者の皆様から100%の回収になるようにしたいと考えて実施しています。今年度の回収は349枚(配布355枚)、回収率は98.3%でした。

来校の機会や具体的な教育の広報が足りず、教育活動をとらえにくい項目もあったかと思えます。しかし、そのような中でも、子供たちの姿や学校からの情報が、保護者の皆様にもどのように届いているかを把握することができます。お忙しい中ご協力をいただきまして、本当にありがとうございました。



### 【質問項目 No.1～11,25～27 までのお子さんの様子やおうちに関すること】

※数値後の( )内は2022年度

「きまりを守る」「あいさつ」など9割程度の肯定的評価となり、生活習慣や規範意識などが概ね定着し、お子さんや学校の礎になっていると再認識しました。一方、「ネットマナー」の否定的評価は20.9%(24.1%)と大きく減少しており、数年来のご意見により「情報モラル教育」をすすめてきた成果を感じる部分があります。

「家庭学習習慣」は80.2%(77.1%)と上昇し、「基礎基本の定着」は88.0%(89.7%)とともに高い評価です。ご家庭での地道な取り組みが、学習の定着につながっており、有難く思います。一方、「読書」の肯定的評価は57.5%(57.8%)と低く、否定的評価も31.0%と1番高い項目でした。児童アンケートも79.7%と微減です。学校生活で本に親しんでも、家庭で本を手取るのはなかなか難しいのかもしれない。

読解力や語彙力の向上には欠かせない読書について、習慣化できるように、より一層工夫した取り組みを考えたいと思います。

今月から登録をお願いしている tetoru の登録が8割を超えましたので、自由記述をまとめた次号は tetoru の配信のみにします。  
※6年のみ紙で配布

裏面に集計結果を掲載